

Case Study

Treasury Wine Estates

アバナード、 トレジャリー・ワイン・ エステーツの クラウド化を支援



TREASURY
WINE ESTATES

Office 365とAzureによる トレジャリー・ワイン・エステーツの クラウド化

トレジャリー・ワイン・エステーツ (TWE) は、80ブランド超の国際的に有名なニューワールドのワイン製品ラインを持つユニークかつ世界的なワインメーカーだ。1840年代半ばのオーストラリアにおけるペンフォールズ誕生、1876年のペリンジャー・ヴィンヤーズ創業。ワイン作りの伝統は他にも、ウィンズ・クナワラ・エステイト、イエローグレン、リンデマン、ローズマウント・エステイト、ウルフ・ブラスなどの世界的に認められた受賞ワインを生み出している。

1万1,000ヘクタールのブドウ園を擁し、年間3,000万ケースのワインを販売、およそ17億豪ドルの収益を上げるTWEは、16カ国に渡り3,000人を超えるワインメーカー、ブドウ栽培農家、販売・流通・サポートスタッフを雇用している。同社にとって必要不可欠なのは、コミュニケーションとITを円滑に管理し十分な顧客サービスと経営上の競争力の維持を図ることである。

ビジネスの状況

TWEは、自社のオンプレミスのメッセージングシステムを Exchange Online (Office 365のEメールコンポーネント) に移行することを決定した。

本移行はTWEの幹部の希望により実現された。彼らは社内のITチームの専門能力がより戦略的に価値ある仕事に発揮されることを望んだのだ。IT部門を共有メール管理の負担から解放することにより、同部門の専門スタッフはより付加価値の高いプロジェクトに従事できるようになった。

グローバル規模の経営上、オンプレミスのEメールシステムはTWEの2つの主要なサイトを通じて配信され、世界の全ユーザーに利用されていた。3500を超えるメールボックスがメルボルンとナパ・ヴァレーのデータセンターから移行された。移行のスケジュールはエンドユーザーへの影響を最小限にとどめるため、ローカルユーザーの仕事時間外に組み込まれた。さらにTWEは、この移行とデスクトップPCのWindows 7へのリフレッシュプロジェクトの足並みをそろえることを要請した。

これはWindows XPの試験段階中に問題が発生した経験を踏まえたもので、TWEはさらにOffice (オフィススイート) を最新バージョンにアップデートすることができ、Office 365に加入するエンドユーザーにすべての機能を利用してもらえるようになった。

Case Study

Treasury Wine Estates

アバナードのソリューション

TWEは類似したフットプリントを持つグローバルパートナーを探し、アバナードを選んだ。アバナードはOffice 365との共存環境の準備の支援およびExchange Onlineへの移行計画の策定・実行に取り組むこととなった。アバナードはTWEのニーズに耳を傾けるとともに同社の将来計画を理解し、競争が激しい市場に身を置く同社にとって最善のソリューションを提示しようとした。

TWEがアバナードを選んだのは、アバナードがマイクロソフトの専門知識に精通していたからだ。オンプレミスとOffice 365との共存技術のセットアップにおいてチームが発揮した能力にはシングルサインオン、ディールシンク（同期）、Exchangeハイブリッド展開が含まれ、準備から実行まで迅速な転換をTWEに保証した。これによりTWEは速やかにOffice 365のサービスを利用できるようになり、Office 365移行に伴うコストの節減が可能となった。

移行計画の策定にはAvanade Connected Methods (ACM) のコンポーネントを、TWEのITリソースの増強にはアバナードのアセットがそれぞれ活用され、移行プロジェクトの実施段階においてはアバナードのグローバルデリバリーネットワークの利用も計画に含まれた。アバナードのマネージドサービスリソースの利用により、プロジェクトは各国のダウンタイムに24時間休みなく進行し、日々の業務への影響は最小限に抑えられた。

結果

TWEは即座に以下のようなプロジェクトのメリットを享受した。

- 1) Exchange Onlineへの移行によりメールボックスのサイズが従来の平均的なメールボックスサイズの50倍に拡大され、アーカイブの必要や情報を探して貴重な時間を失う手間が軽減された。
- 2) オンプレミスのEメールハードウェア要件の除去によりITの運用コストが削減された。とくに大きなメリットはSANのストレージの大幅軽減である。これによりコストが節約され、ストレージの軽減分を他のサービスに再利用できるようになった。
- 3) Exchange Onlineはまたメールシステム全体の可用性を高め、TWEの競争力向上に貢献している。

現在TWEは他のOffice 365 サービスのアクティベートや最適化に向けて準備を整えており、今後の自動化計画に向けてより機動性のある組織となっていくだろう。

最後に、アバナードのOffice 365 サービスを通じてTWEはマイクロソフトのクラウドベースの最新技術を導入することが可能となり、同社の従業員はいつでもどこでも相互に連絡を取り、協力し、革新していくことができるようになった。

Office 365プロジェクトの成功後、TWEは引き続き同社のマイクロソフトプラットフォーム投資の最適化支援をアバナードに依頼している。これにはMicrosoft Azureクラウドをベースとするウェブ管理システムSitecoreの実装も含まれ、同社のウェブサイト：www.penfolds.comのモバイルレスポンス向けに設計・構築される。新しいウェブサイトでは何百回となく繰り返されてきた損害につながる予想外の機能停止が一切生じなくなっている。この新たなAzureのクラウドベースの実装が示す安定性に支えられ、TWEではユーザー、クライアント双方の顧客ベースとの関係やエクスペリエンスの最新化、改善が進んでいる。

「アバナードは TWE のメッセージングの移行と Microsoft Office 365 の導入を短期間かつ当社のエンドユーザーに対するリスクを軽減しつつ支援してくれました。Office 365 の導入により、よりグローバルかつ機敏に当社のワインブランドの製品ラインを成長させることが可能となっています。アバナードはテクノロジープラットフォームに精通しており、当社にプランニングツールと IP を提供してくれました。これにより当社ではリリースプランニング、スケジューリング、コミュニケーションプランニング、変更管理、サービス導入の調査、準備、推進が容易になりました」

*トレジャリー・ワイン・エステーツ
最高情報責任者 (CIO)
アッシュ・ペック*



アバナードとは？

- 2000年にシアトルにて設立された、米国アクセンチュアとマイクロソフトの共同出資合弁会社
- アバナード株式会社は、アバナード・グローバルの100%子会社として2005年にビジネスを開始
- マイクロソフトのエンタープライズ基盤を専門とする、唯一のグローバルITソリューションカンパニー

アバナードの業務

- IT戦略立案からシステムの設計・構築、アプリケーション保守までの幅広い業務を遂行
- 製品を軸とせず、クライアントのビジネスやワークスタイルを軸としたソリューションを提供
- 高度な専門知識や経験による、テクノロジービジョンの実現

アバナード株式会社

〒106-0032 東京都港区六本木 1-8-7 アーク八木ヒルズ

<http://www.avanade.com/jp> Phone 03-6234-0150

tokyo@avanade.com

Avanadeの名称及びロゴは、Avanade Inc.の登録商標です。その他、記載されている会社名および製品名、サービス名、ロゴ等は、各社の商標または登録商標です。